



## み言葉は 5

いのちの言葉

黙示録 21,3

**神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となる。**

神は、常にご自分の民である私たちと共に住むことを望んでおられました。

ヨハネの黙示録のみ言葉は、神のお望みが完全に実現されるという確信を私たちに与えてくれるものです。

### わたしたちともにいる神

復活されたイエスは、もはや時間や空間にとらわれることなく、その存在は全世界に及んでいます。イエスとともに、今までにない新しい共同体、多くの民からなるひとつの民が生まれました。神が望まれるのは、私の心の中家族の中、あるいは特定の民の間に住まうことではなく、ひとつの民を形成して、すべての民の間に住むことをお望みになりました。

### ひとつの家族

肌の色、文化、宗教といった違いがあるにもかかわらず、神は私たち皆の御父であり、ひとり一人を愛しておられます。神にとって私たちはみなご自分の子どもであり、ひとつの家族なのです。

### 他国を自分の国のように愛する

相手が自分にとって大切な存在であることを認め、お互いの違いとその良さを尊重するように努めましょう。「私は相手であり、相手は私。相手は私の中に生き、私は相手の中に生きている」と。

まずは、毎日生活を共にする人から始めてみましょう。

「いつの日か人類が、それぞれが自国への思いを脇に置いて、...民と民の間にイエスが生きる新しい時代が始まるでしょう。」キアラ



## いのち

ブリュッセル(ベルギー)

### 諸宗教間の一致のパーティー

ベルギーの青少年グループです。3年前から、「Together for peace(一緒に平和のために)」というプロジェクトで、言葉や文化の違いを越えてひとつになるよう働きかけています。私たちの国の大都市では、たくさんのイスラム教徒がいます。特にモロッコやトルコ、バルカン半島から来ています。今年は、ブリュッセルで「兄弟愛のコンサート」をイスラム教徒とクリスチャンと協力して開催しました。その目的は、私たちが、一致した世界の実現のために日々努力していることを知らせるためです。

コンサートの当日は、様々な言語のこの2つの宗教の子供や青少年が共に過ごしました。食事は、宗教によって決まりがあるので、お弁当を心をこめて準備しました。ゲームでは、お互いに対する恐れや考えを取り払い、知り合い、尊重しあう機会となりました。

コンサートには、プロのコーラスと歌手も参加し、イスラム教徒とクリスチャンで、フランス語、オランダ語、ドイツ語によるものでした。

お互いの文化にふれるひとときでした。450人程が参加し、文化大臣のJ.Milquet氏、国務大臣B.Debaets氏、イスラム教徒の神学者やベルギーで博士課程にいるエジプト人のクリスチャンの若者もいました。ベルギーのイスラム教徒を代表する団体の議長N.Smaili氏とReligions for Peaceヨーロッパ代表のYolande Iliano氏も参列しました。参加者が感銘していたことは、兄弟愛の雰囲気が大きくなっていったことです。多くの人は初めて体験したことでした。

「私たちは、言葉も宗教も様々ですが、その違いがあったとしても、共に生き、平和を築くことの妨げにはなりません。」と何人かの青少年が語りました。

とても強い体験でした。これからもわたしたちの国で違いのなかに一致を築こうとしている皆さんの他の人たちともいっしょに生きられるようにと願っています。」